

大牟田市立天領小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、学校教育目標「共に未来を築く、心豊かで、かしこく、たくましい子どもの育成」の実現に向け、大きく二つの柱を立て、ESDを推進している。

一つは、体育科の研究を長年続けてきたことをいかして、体育科、生活科・総合的な学習の時間、道徳等を中心に、人々・社会とかかわる課題解決的な活動を重視し、「オリンピック・パラリンピック」を通じたESDを展開している。

もう一つは、大牟田市教育委員会と東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの海洋教育推進協定の締結を受け、昨年度より「天領小学校・みなと小学校・天の原小学校の3校が連携した海洋教育」を通じたESDを展開している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

◇オリンピック・パラリンピックムーブメント推進を以下の点で展開する。

- オリンピック・パラリンピックの歴史や精神について学ぶ
- 教科学習指導におけるオリンピック・パラリンピックを生かした教材で学ぶ
- 競技者とのふれあいを通してその精神を学ぶ

そのために、総合的な学習の時間を中心に、体育科、道徳、特別活動との関連を図る全体計画を策定している。

また、海洋教育の概念「海に親しみ、海を知り・海を守り・海を利用する」の学習を段階的・組織的に展開するために、3校の3～6年生が共通して取り組む年間活動計画を立案している。

令和元年度		海洋教育年間指導計画												大牟田市立天領小学校		
学年	単元名	関連等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
3年生	有明海・見つけた海の生き物！	海に親しみ 海を知る		天領祭りを開こう！ （千鳥堂学芸会学習） 千鳥観劇会 (合同)					有明海の生き物を知ろう ・ムツゴロウなどの珍しい生き物の生態 ・いざやペンギンが日記の裏面に生き物の生態 ・生き物と環境の関連				天領小海祭りをしよう （生き物図鑑） ・有明海の生き物でクイズゲーム			
		関連教科・学習等	社会「わたしたちのふるさとのお祭り」		社会「わたしたちのふるさとのお祭り」					社会「海洋のくらし」			社会「地域の歴史や文化」			
4年生	つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海	海を守る 海に親しみ				つながろう！私たちと諏訪川 （水たまり） ・生き物、植物観察			海えよう！私たちと諏訪川と有明海 （諏訪川の上流から下流までの水質検査） （リンクテスト） ・生き物指標を用いた水質検査 ・水質検査がどれくらい川の環境に影響を及ぼしているか			つながろう！私たちと諏訪川と有明海！ ・ポスター作り ・お手紙作り ・環境保全を呼びかける「川の日」イベント				
		関連教科・学習等	社会「わたしたちのふるさとのお祭り」		社会「わたしたちのふるさとのお祭り」				道徳「ふれあいの力」	社会「海洋のくらし」			道徳「自然の恵み」			
5年生	地域の宝を調べよう！～三池港を中心とした地域学習～	海を知る 海を 利用する						私たちは三池港や有明海についてどれくらい知っています？ （三池港学習） ・新上からの海岸ゴミ観察	三池港の歴史や役割を知ろう （三池港学習） ・新上からの海岸ゴミ観察 有明海や海の環境を知ろう （ゴミ拾いと分類分け）			三池港・有明海・海の新聞を作って考えを広げよう！ （新聞制作と環境保全対策） ・新聞作りと発表				
		関連教科・学習等			道徳「自然の恵みと感謝しよう」				社会「海洋のくらし」	社会「わたしたちのふるさとのお祭り」			道徳「自然の恵みと感謝しよう」			
6年生	海と人を通して見えた大牟田のまち	海を利用する 海を守る						大牟田ではたらく人の思いをもったの？ （福祉産業見学） ・社会見学 ・三池港見学	熊球磨さんのように、これからの大牟田のまちを築こう （新幹線の便利調べ） ・海と関連させた新幹線 海洋教育こともT V会議 (合同)			まちづくりプレゼン大会 （授業ではたらく人や市民の方々に新幹線を提案する） 海洋教育子どもフォーラム(合同)				
		関連教科・学習等						社会「新しい技術が暮らしや仕事にどう活用されているか」	道徳「自分の生きかたをどう生かすか」	道徳「わたしたちのふるさと」			社会「わたしたちのふるさとのお祭り」			
学校行事			歓迎会 運動会	リレー大会 水泳会	野外活動			運動会	海洋教育	マリンフェスティバル	修学旅行	マリンフェスティバル	卒業式	修学旅行		

3 特徴的な活動事例



【456年生 体育 「トップアスリートと交流しよう」】
【全学年 特別活動 「パラリンピアンと交流しよう」】

1993年、世界陸上ドイツ・シュトゥットガルト大会4×100mリレーに出場された小野原英樹選手を招聘し、4年生以上を対象に陸上教室を開催した。体のウォーミングアップの仕方や走り方・バトンパスの仕方などはもちろん、リレー競技をするにあたっての心構えや、チーム力を高めるための意識の持ち方などについても指導してもらった。

また、2012ロンドン・パラリンピック大会で金メダルを獲得された浦田理恵選手を招聘して、困難なことがあっても自分にできることを探し、前向きにチャレンジすることの大切さ、そして相手思いやりながらプレーすることの大切さなどを教えていただいた。今現在、浦田選手自身が、東京2020ゴールボール代表選手として決定していないが、決定され次第、浦田選手を応援する取り組みを進めていこうと考えている。



【陸上教室の様子】



【浦田選手との交流会】



【第3学年 有明海・見つけたよ海の生きもの！】

ネイチャーガイドの柿川先生を迎え、海の生きものや海と山のつながりについて教えていただき、実際に干潟観察会で体験を通して有明海のすばらしさを子どもたちに伝えていただいた。子どもたちは、実際に触れ合った生き物たちや触れ合えなかった海の生き物に対して「もっと知りたい」と学習課題を設定し、調べ学習を進めていった。そして、調べたことをもとに、「天領海祭り」を開催し、全校児童を対象に海の生き物について紹介した。

また、海祭りに来た子どもたちのアンケート結果から、「本物の生き物を紹介したい」という課題をもち、海の生き物を飼う活動を通して愛着をもつとともに、図鑑だけではわからなかった環境とのつながりを実感することができた。みなと小学校の子どもを招いての交流会では、環境と関連付けて海の生き物を紹介することができた。



【干潟観察会の様子】



【合同海まつりの様子】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・本物のアスリートとの出会いは、アスリートの生き様と自分たちの生き方を重ね合わせて考える機会を与えてくれた。「自分の中に弱さはあるが、アスリートに負けないよう頑張りたい。」という考えに至った子どもも多く、笑顔で前向きに生活できる児童が増えている。(オリ・パラ)
- ・学習の課題設定を明確にしたことで、その後の追究や行動・発信の学習をスムーズに行うことができた。また、数多くのGTの方々と出会い、話をさせていただくことで、新たな視点に気づき更に学習を深めることができた。(海洋教育)

○課題

- ・海洋教育特例校になることで、「海の時間」として3年生以上が25コマ実践することになる。各学年の学習内容と系統性・学習の構成等、他の2校と歩調を合わせながらも、天領小独自の海洋教育の充実を図る必要性がある。